

劇団子供鉦人 解散宣言

2022年5月5日、子供の日。

今日の子供の日は、劇団子供鉦人の解散を宣言します。

理由はとてもシンプルに「みんな、新しい事を始めるべきだ」と思っています。去年、開催する予定だった十五周年記念公演がコロナ禍で中止になりました。それ迄全力疾走したのに、ふと立ち止まると、ふと、まっくらな霧に落ちて、上を向いたら、「ああ、新しく始めよう」と云う、何の啓示の様な声が届いたように。

「十五周年漂流記 06年に大阪で旗揚げし、東京に拠点を移し、足掛15年。失敗と成功と、偶然と必然と、出会いと別れと、全部の全部、思い返せば心に沁みこむ漂流記——」で始まった「十五周年：寄せる言葉」の続きはもう書く機会はありません。「解散公演」も行わず「宣言」し、出さず、こどもたちを大切にしてくれた皆様には心苦しい限りです。正直な所、解散を劇団で内定させてから、一年近くが経っているんですが、ここ迄云い出せなかったのは、「劇団」と云う永遠の夏休みのような活動を終わらせてしまふことへの嫌な、嫌なことをしれません。どうも「子供の日」ばかりで「成人の日」に宣言出せばよかったのかな……。と云われ、解散の終わりがはやく劇団員それぞれに新しい内出を思ってもらえれば幸いです。「劇団」と云う、この世でもっとも非効率で不経済なものを、ここ迄やり通せたのも、劇団員それぞれの奮闘があったからなんです。また、不思議な縁に因り、「あなたいつ就職するの？」と赤たに云ってくれた私の母親を以て（おとす）劇団員諸氏、スタッフの皆様、大人鉦人の皆様。そして、何よりお客様のご声援のおかげがあります。本当に感謝の念に耐えません。ありがとうございます。

昔、お客様の方に「仕事がなくて、故郷に帰ろうかどうか迷っていた時、子供鉦人からの公演葉書が届いて、どうせ、今の仕事を頑張ろうと思えた」と云われた事があります。僕らのこども活動が、誰かの人生に影響を与えて、事に感動した。願わくば、子供鉦人の76年の誰かの心を支えていた16年でありましたように。

けな、またね！

劇団子供鉦人代表 益山 貴子